

令和2年度の学校教育目標等について

京都市立松原中学校

【学校教育目標】

「自らを律し、
なかまを大切にする、
創造性豊かな生徒の育成」

— 自律・友愛・創造 —

自ら学ぶ力、（学ぶことの楽しさや発見、自己を変革し続けることができる力）律する力を（ひととのかかわりを成長の糧とし、自己や他者にとってより良い選択・判断ができることができる力）鍛え、責任ある行動をとり、学び合い、高め合う「なかまづくり」ができ、自らの「夢の実現」に向けて、何事にもチャレンジする創造性豊かな生徒の育成を目指す。

令和2年度 学校経営方針

- ① 「生きる力」を伸長し、「自信と誇りにみちた生徒」を育成していく中で、生徒一人ひとりが持てる力を発揮し、各自の自己評価を高めるために創意工夫ある教育活動を実践する。(輝く松原づくり)**
- ② 協同的な学びを通して、すべての生徒の学ぶ権利を実現するとともに、道徳教育とキャリア教育が充実した学校をつくる。**
- ③ 生徒の集団づくりを図るとともに、人権文化が定着した学校づくりを推進する。**
- ④ 他校種間の連携や地域との交流を重視し、地域や保護者に開かれた学校とし、その中で生徒主体の教育活動を実践する学校とする。**
- ⑤ 学校教育目標を理解し、共有し、共にチーム（組織）の一員として実践する教職員集団をつくる。**